

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	危機管理室
部(局)長名	羽間 紀雄

【達成度について】
 A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 4 防犯力の向上

全体の達成度
A
 達成

目指すべき方向	犯罪を許さない気運の醸成、市民ひとり一人の防犯意識の高揚を図ります。
---------	------------------------------------

活動目標
吹田警察署と連携し、防犯講座を実施するなど積極的に地域の防犯活動の活性化に寄与する取組みを進めます。
市、警察、防犯ボランティアとの連携を図り、防犯体制の強化を図ります。

具体的な取組実績
防犯活動については継続性が重要なことから吹田警察と連携した防犯講座（年6回216名受講）や防犯強化月間（年3回4月、10月、12月）時の取組、児童防犯講座（年10回305名受講）を実施しました。
地域青色防犯パトロール団体の活動支援や吹田防犯協議会への活動支援、青色防犯パトロール隊の士気及び市民の防犯意識を高めるため、吹田まつり（7月）のパレードへの参加、地域防犯カメラの設置支援（6連合自治会30台設置）などを行いました。

達成目標
市民ひとり一人の防犯意識の高揚を図り、防犯ボランティアの結成や犯罪発生件数の更なる減少を目指します。
それぞれの役割を確認しながら、市の防犯体制の強化や地域に対し必要な支援を実施します。

達成状況	達成度
新たに2団体30名の地域防犯パトロール隊が結成されました。平成27年中の犯罪認知件数は前年に比べ19件減少の3,428件となりました。街頭犯罪としては、前年度に比べ49件減少の1,782件と毎年減少傾向にあります。	A 達成
安心安全の都市（まち）づくり講習会や児童防犯講座等の啓発活動を行うとともに、吹田警察や吹田市消防本部と連携し、安まちメール等の防犯情報を活用した市青色防犯パトロールを実施しました。また、地域の防犯活動を支援するために、地域青色防犯パトロール活動や防犯ボランティアに対する支援、地域防犯カメラの設置支援などを通じて、地域の防犯体制の強化に努めました。	A 達成

総合評価・総括
平成27年度末現在で、危機管理室に登録されている地域防犯パトロール組織として34団体1,120名、地域青色防犯パトロール隊として10団体32台をはじめ、各地域の防犯活動団体（自治会、青少年指導委員会、PTAなど）による地域防犯活動を実施していただいております。こういった地域の日々の防犯活動の積み重ねが、全ての市民が安心して安全に暮らすことができる防犯環境づくりにつながっていることから、引き続き地域活動の支援に取り組みます。また、犯罪認知件数としては減少傾向にありますが、子ども・女性などに対する声かけや性犯罪等重大事件につながるような事案が後を絶たないことから、早急に地域の見守りの目を増やし、市全域の防犯力を向上させるような施策を進めていく必要があります。